

内部監査における新技術 (AI、IoT等) への対応

～ AI、IoT等の新技術にいかに取り組むか ～

日時

2023年8月29日(火) 13:00～17:00 (4H)

参加方法

■会場参加：日本経営協会内専用教室 (右図参照)

東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

■オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師

東洋大学工業技術研究所客員研究員 (元) 東洋大学総合情報学部教授
公認情報システム監査人／公認内部監査人
(元) 東京ガス(株)監査部情報システム監査グループマネージャー

しまだ ゆうじ
島田 裕次氏

対象

内部監査担当者、監査役、
経営管理および経理財務部門・システム部門の方々



主催 一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

AIやIoTなどの新技術の急速な進歩・普及と相まって、内部監査においても、これらの新技術への対応が求められている。AIの導入は、自動運転をはじめとして、業務支援、医療支援など様々な分野で実施又は計画されており、ビジネスへの影響も大きくなっている。その結果、経営者の新技術に対する関心が高まり、それが事業活動に貢献するかどうかを点検・評価する内部監査の役割も重要になっている。

本講座では、内部監査人は、新技術に係るリスクをどのように把握し、それに対するコントロール(対策)をどのように点検・評価すればよいのかを考えていく。まだまだ発展中の領域であり、確立したチェックリストがないのが現状であるが、チェックリスト(案)も提示しながら説明する。

■参加料 (1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

◇ 日本経営協会会員(1名)：29,700円(税込)

◇ 一般 (1名)：36,300円(税込)

■受講お申込み方法

下記「お申込みの流れ」を参照いただき、お申込みは開催日の5営業日前までにお願いいたします。

【WEBからのお申込み方法】

- 1 一般社団法人日本経営協会
ホームページ <https://www.noma.or.jp> から
- 2 「セミナー／講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
※テキスト・資料の送付先が、ご連絡先と異なる場合は「連絡事項」部分に送付先住所をご入力下さい。
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます

■参加料金お支払い方法

お申込み後、振込口座名を記載した請求書、参加券をご連絡担当者にお送りします。なお、開催3営業日前までに届かない場合は必ず電話にてご確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載のお支払期限までお願いいたします。

振込み手数料は貴社(団体)にてご負担下さい。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきます。

■オンライン参加について

【セミナーで使用するテキスト・資料とご視聴について】

セミナーで使用するテキスト・資料類は、現物(紙)を送付する予定ですが、ダウンロードURLをメールでご案内する場合もございます。当日、視聴していただくためのURL及びID・パスワードは、別途担当からメールにてご派遣責任者(連絡担当者)宛てご連絡いたします。

お申込み・
お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会

企画研修グループ・オンライン開発グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL (03) 3403-1891(直) FAX (03) 3403-1130

E-mail: tms@noma.or.jp URL <https://www.noma.or.jp>

【オンラインセミナー受講上の注意事項について】

Zoomを用いて、会場の研修の様子をライブ中継いたします。Zoomに接続可能なパソコンまたはタブレット端末をご用意下さい。事前に各ストアから無料アプリをダウンロード(最新のバージョンに更新)して下さい。Zoom公式ホームページ: <https://zoom.us/>

セミナー動画の録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また自ら、又は第三者を通じて、テキストデータおよびセミナー動画の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権・知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

セミナー参加に必要な通信環境、通信料等は、参加者のご負担となりますのであらかじめご了承下さい。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索／ご入会のご案内」をご参照ください。

■キャンセルについて

お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。ただし、オンライン参加の場合は、セミナーテキスト・資料の到着後のキャンセルについては、参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。(セミナー1週間前程度から発送開始)

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

AI、IoT等の新技術にいかに取り組むか

プログラム内容

1. はじめに

- 内部監査の目的
- 内部監査とリスクマネジメント
- 難しくなる内部監査

2. 内部監査でのリスクの把握法

- 経営との関係を重視
- 過去リスクの分析
- 未来リスクの分析
- イメージで考える

3. リスクマネジメントと新技術

- AIとリスク
- IoTとリスク
- RPAとリスク
- テレワークとリスク

4. 監査の進め方

- AIを対象にした監査チェックリスト（例）
- IoTを対象にした監査チェックリスト（例）
- RPAを対象にした監査チェックリスト（例）
- テレワークを対象にした監査チェックリスト（例）

5. 内部監査での新技術の活用

- CAAT（コンピュータ支援監査技法）の活用法
- AI、IoT、ビッグデータ、RPAの活用可能性
- リモート監査、アジャイル型監査

6. おわりに

- 過去型から未来型の監査へ
- 原因分析型から目的分析型の監査へ

*出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせください。

講師プロフィール

東洋大学工業技術研究所客員研究員（元）東洋大学総合情報学部教授
公認情報システム監査人／公認内部監査人
（元）東京ガス(株) 監査部業務監査グループマネージャー

しまだ ゆうじ
島田 裕次氏

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、同年東京ガス(株)入社、IT部門、監査部、経理部などで勤務し、2009年～2022年東洋大学総合情報学部教授、2022年～現職。1999年より日本大学商学部非常勤講師（科目：コンピュータ会計論）。博士（工学）、公認内部監査人（CIA）、情報処理技術者試験委員、システム監査技術者（経済産業省）、公認情報システム監査人（CISA）、公認情報セキュリティマネージャー（CISM）。

（著書）『はじめての内部監査』（日科技連出版社）、
『DX時代の内部監査手法』（同文館出版）、
『内部監査の実践ガイド』（日科技連出版社）、
『リスク図による情報セキュリティ監査の実践』（同文館出版）、
『情報セキュリティ・個人情報保護のための内部監査の実務』（編著 日科技連出版社）、
『システム監査の実務解説（第3版）』（同文館出版）、
『情報セキュリティの基本』（日本実業出版社）。

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。